

Magic xpi Integration Platform

*a single platform for dynamic,
limitless connectivity*



Magic Software Japan K.K.

Magic Software Enterprises



設立	1983(Asseco Group)
NASDAQ	MGIC(1991)
グローバルオフィス	24
従業員数	2,000+
導入国数	50+
グローバルパートナー	1,300+



Worldwide Offices

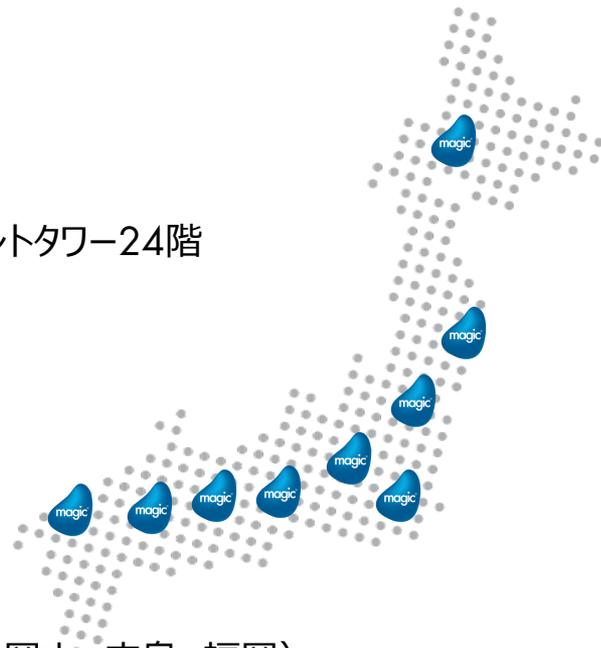


- North America
- Europe & UK
- South Africa
- Israel
- India
- Russian
- Japan



マジックソフトウェア・ジャパン

所在地	東京都新宿区北新宿二丁目21番1号 新宿フロントタワー24階
設立	1998年（10年間は日本総代理店にて販売）
パートナー	800社（300種以上のパッケージソフトウェア）
ユーザー	45,000社
国内営業拠点	9拠点（札幌、仙台、東京、信越、名古屋、大阪、岡山、広島、福岡）
主な製品	ローコード開発ツール「Magic xpa Application Platform」 データ連携ツール 「Magic xpi Integration Platform」



Magic[®] xpa

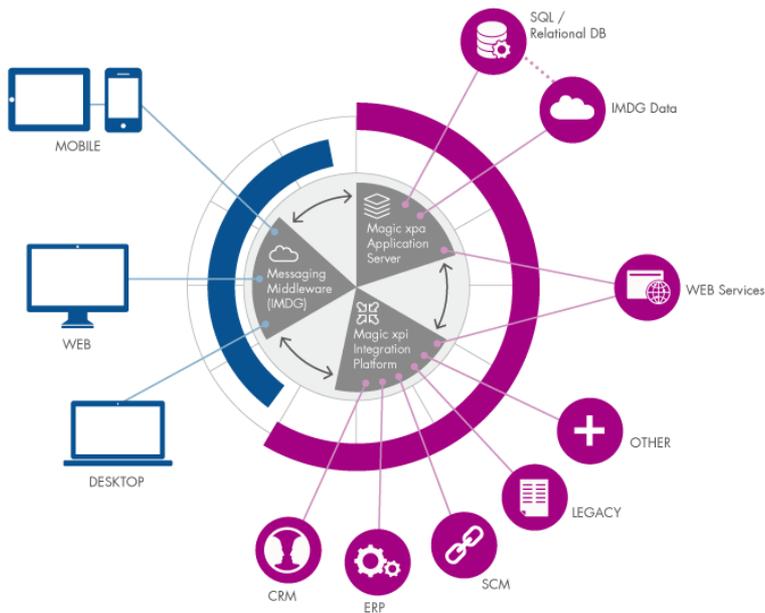
Magic[®] xpi



Magic xpaで「つくる」 Magic xpiで「つなぐ」

ローコード開発ツール

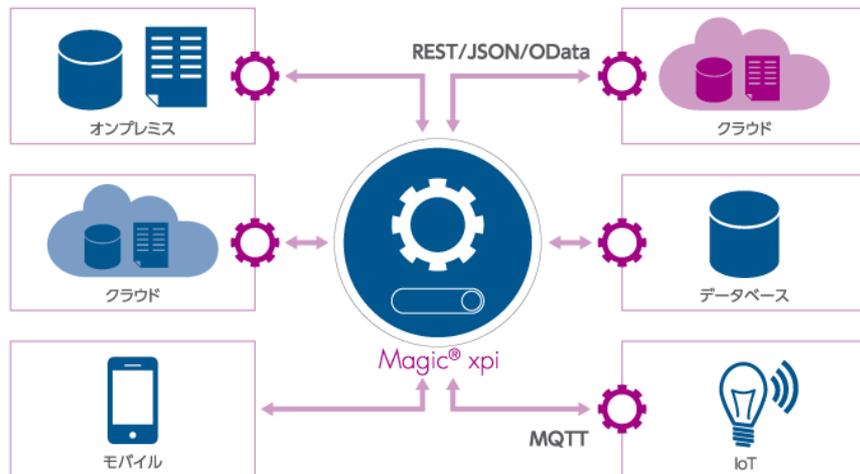
Magic[®] xpa



言語の2～10倍の開発効率
ワンソース・マルチデバイス

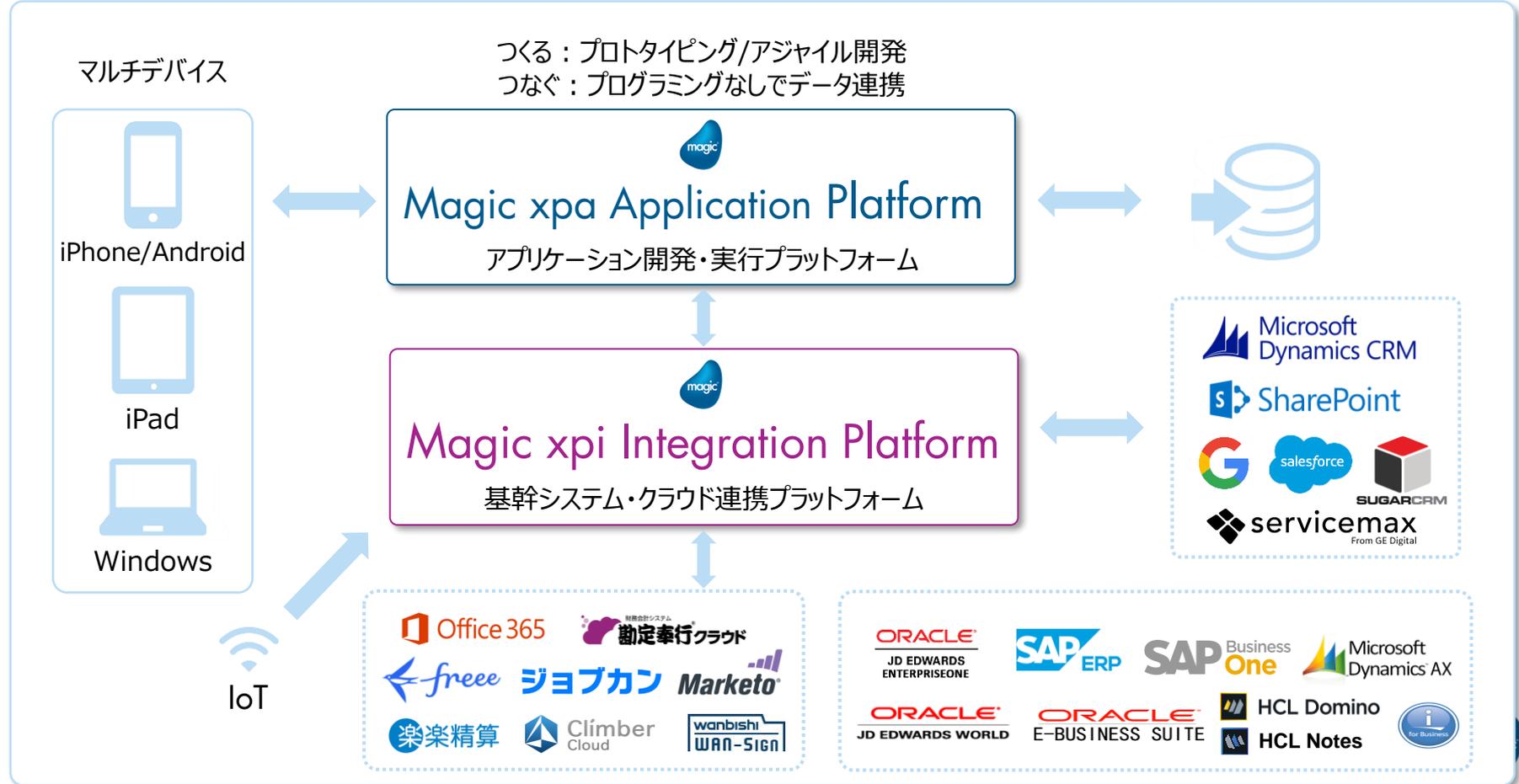
データ連携ツール

Magic[®] xpi



ドラッグ＆ドロップでデータ連携
業務プロセスを自動化

Magicはシステム開発もクラウド連携も“超高速”



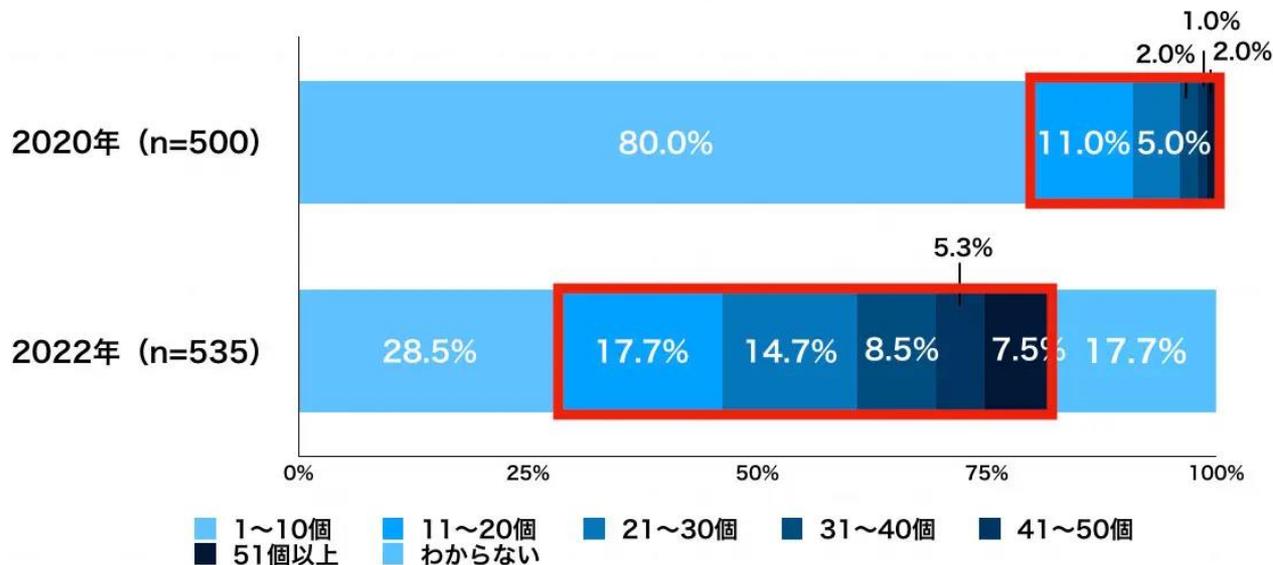
Magic導入実績 (45,000社以上)



1社あたりのSaaS利用数

Q1

お勤めの企業で、導入・利用しているSaaSの数を教えてください。



課題



デジタル変革が未完成のまま



データのサイロ化がまだ存在する



他部署との連携が不完全



プロセスが最適化されていないまま



チーム間の共有や連携不足



データを有効に活用できていない

企業に共通する現場運営上の課題

分断によるデメリット



分断が続く要因

部署ごとにデータ形式が異なる



個々の連携にカスタマイズが必要



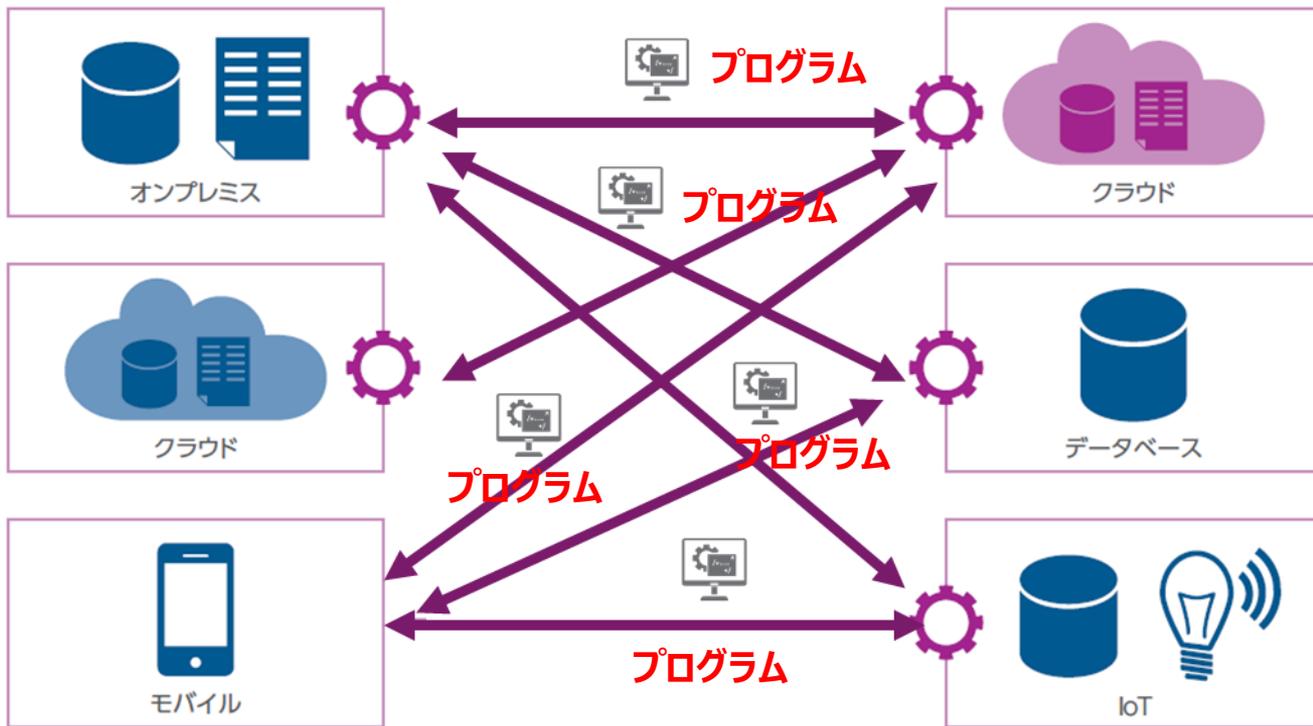
システム連携が高コスト



システムのサイロ化により
業務フローが分断

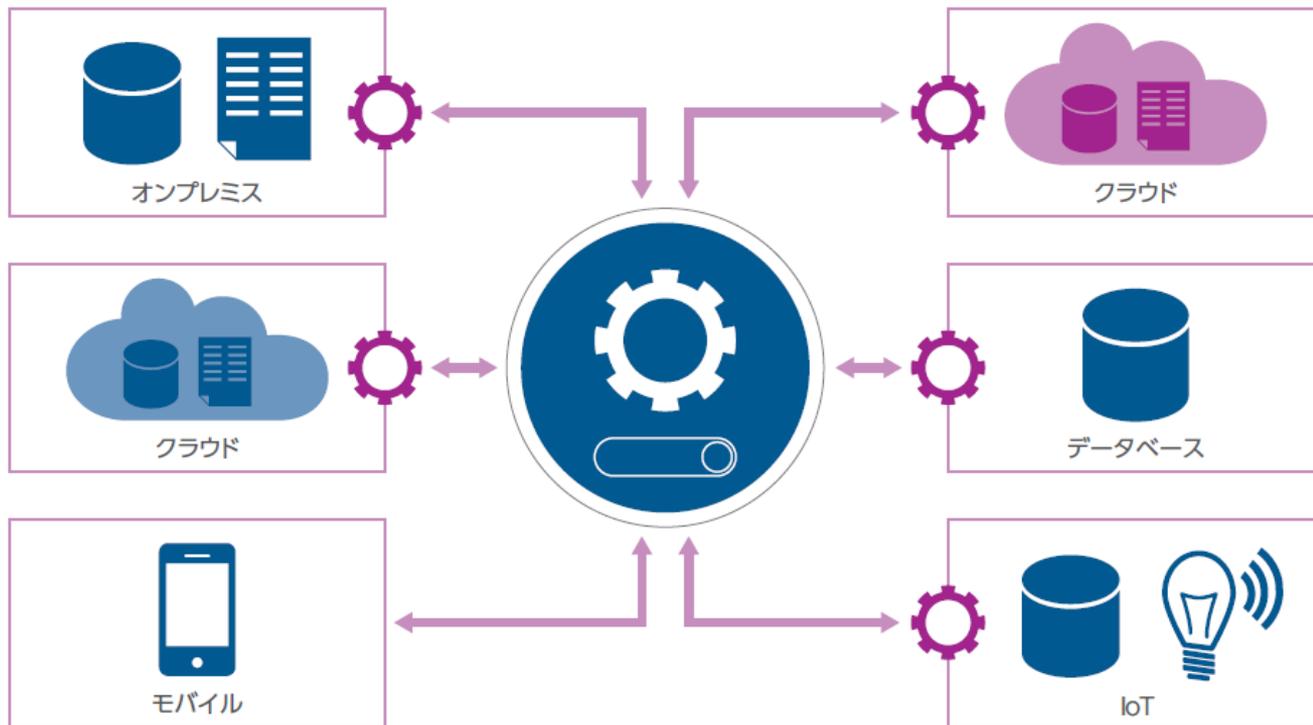
サイロ化したシステムの連携

各業務システムおよびサービス間をつなぐために、プログラム開発が必要

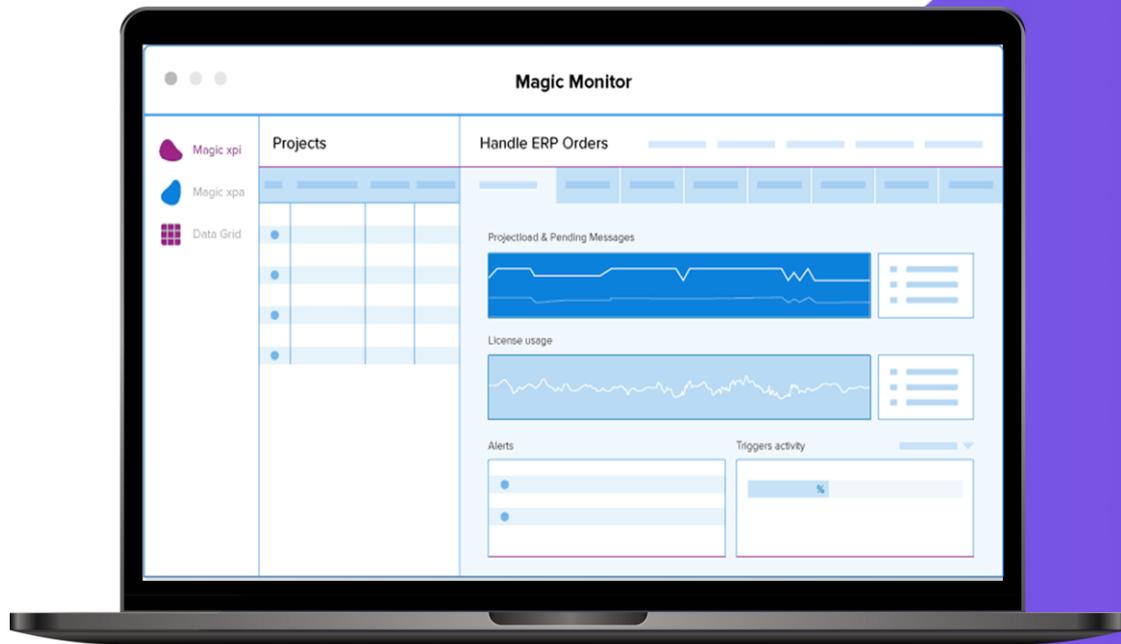


データ連携ツールの役割

システム/サービス間のデータ連携を集中管理

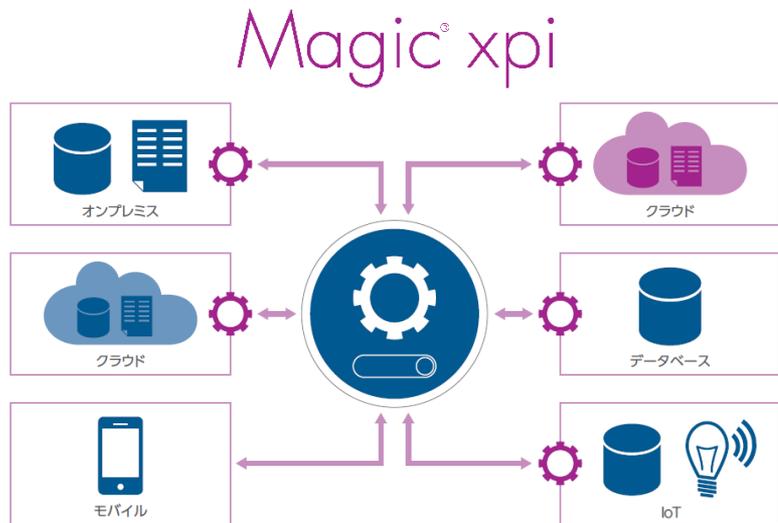


データ連携ツール Magic xpiとは



Magic xpiとは

システム/サービス間のデータ連携と処理の自動化を集中管理



各種トリガーで連携処理を自動化

処理をサーバで集中管理・監視

APIを呼び出すコーディングが不要

リーズナブルな価格とライセンス

ノーコードでデータ連携フローを定義

検証用ライセンスが無償添付

無料の標準アダプタが豊富

IoTとの連携が標準機能

サービスを止めない耐障害性

SQL文の記述が不要

Local Agentが遠隔地と連携

すべての連携フローをモニタ

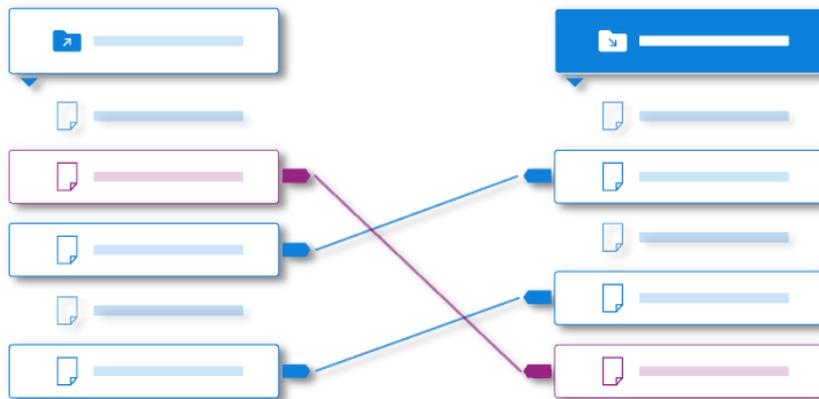
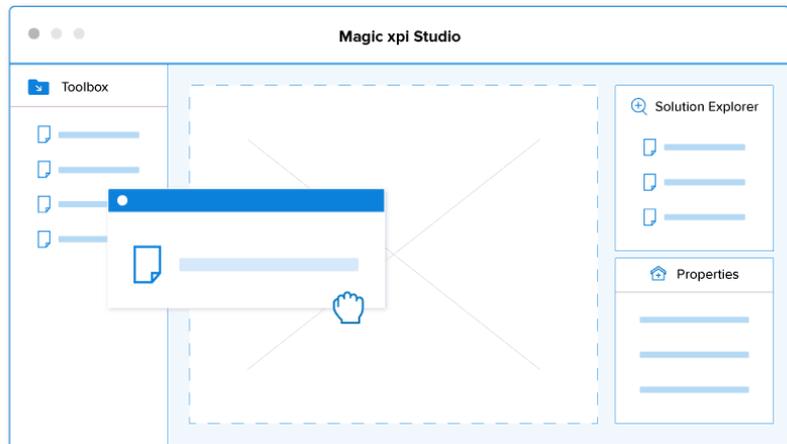
誰でも簡単に連携



① 貼って

② 選んで

③ 線を引く



ビジュアル開発環境でシステム連携フローをデザイン

ドラッグ&ドロップによるデータ連携開発

データ連携フロー作成：アダプタを貼る

ツールボックス

アダプタ

ドラッグ&ドロップ

トリガーエリア

フローステップ

プロパティ設定

プロパティ

フロー設定

チェッカー結果

#	重大度	BP/名称	フロー	ステップ/トリガー	コントロール名	説明
0	エラー					
0	警告					
0	メッセージ					

ドラッグ & ドロップによるデータ連携開発

データマッピング : データ項目間の線を引く

各種DB、XML、JSON、CSV、変数、パラメータなどのデータをドラッグアンドドロップでつなぐ

送り先側のデータ項目毎に関数による演算が可能

ツールボックス

- マッピングスキーマ
- ポインター
- Call Flow
- DataBase
- Flat File
- JSON
- ODS
- Template
- UDS
- Variable
- XML
- 全般

このグループには使用可能なコントロールがありません。項目をこのテキスト上にドラッグして、ツールボックスに追加してください。

送り元

- UDSデータ
- U健康診断UDS
- compPtId
- measurement_date
- height
- weight
- belly
- bmi
- eyesight_naked_r
- eyesight_naked_l
- eyesight_ycform_r
- eyesight_ycform_l
- hearing_ability_r
- hearing_ability_l
- blood_pressure_h
- blood_pressure_l
- blood_hemoglobin
- blood_corpuscles
- got
- ep1
- rstp
- blood_cholesterol
- neutral_fat
- hdl_cholesterol
- ldl_cholesterol
- blood_sugar
- hemoglobin
- protein
- sugar
- uric_acid_level
- インテックス

送り先

- JSON
- RepeatIt
- ptId
- measurement_date
- isHeight
- height
- isWeight
- weight
- isBelly
- belly
- isBmi
- bmi
- isEyesight_naked_r
- eyesight_naked_r
- eyesight_naked_l
- eyesight_naked_l
- eyesight_ycform_r
- eyesight_ycform_r
- eyesight_ycform_l
- eyesight_ycform_l
- isHearing_ability_r
- hearing_ability_r
- hearing_ability_l
- isHearing_ability_l
- hearing_ability_l
- isBlood_pressure_h
- blood_pressure_h
- blood_pressure_l
- blood_pressure_l
- blood_pressure_l
- blood_pressure_l
- isBlood_hemoglobin
- blood_hemoglobin
- isBlood_corpuscles
- blood_corpuscles
- blood_corpuscles
- isGot
- got
- isEp1
- ep1
- isRstp
- rstp

出力

出力元の表示(S):

チェッカー結果: 出力

ソリューション エクス...

- ソリューション XXXX_XXX_XX
- リポジトリ
- 6_Data6
- BP変数
- 6_1_JSONデータ出力
- フロー変数
- エラーポリシー
- 6_2_JSONデータ送信
- 6_3_JSONデータ再
- 1_Data1
- 2_Data2
- 3_Data3
- 4_Data4
- 9_Data9
- 5_Data5
- 7_Data7
- 8_Data8
- 10_Data10

プロパティ

ComplexField

説明

パス U.健康診断UDS

ノードタイプ Complex

名 U.健康診断UDS

データ連携の自動化=トリガー

起動タイミング(トリガー)の設定

トリガーエリアにアダプタを貼付

The screenshot shows the Magic xpi Studio interface. A yellow box highlights the 'トリガー (1)' icon in the top right of the workspace. A yellow arrow points from this icon to the 'Salesforce' adapter in the left-hand 'ツールボックス' (Toolbox). The main workspace shows a data flow diagram with a 'データマッパー' (Data Mapper) component and two data sources: 'SAP R/3' and 'NOP'.

salesforce

Salesforce
アダプタ

更新差分を簡単に取得
差分取得はMagic xpiだけ!

The screenshot shows the 'Salesforce トリガー設定' (Salesforce Trigger Settings) dialog box. A yellow box highlights the 'ポーリング間隔' (Polling Interval) field, which is set to '00:05'. Another yellow box highlights the 'オブジェクト' (Object) dropdown menu, which is set to 'Opportunity', and the 'オペレーション' (Operation) dropdown menu, which is set to 'Updated'. The '結果XML保存' (Save Result XML) field is also highlighted, showing it is set to '変数' (Variable) and 'C.UserCodeBlob'.

#	行ラベル	オブジェクト	オペレーション	開始日
1		Opportunity	Updated	



Magic xpiが提供するトリガー

- Webサービス(Webサービス プロバイダー)
- HTTP(Webアプリケーション) ← 奉行V ERPクラウドからのWebhookをトリガーにリアルタイム連携可能
- メッセージキュー(MSMQ / JMS / WebSphereMQ / IBM i Data Queue)
- E-Mail受信
- フォルダー内のファイル
- スケジューラー(カレンダー/インターバル)
- SAP Business One
- SAP ERP(iDOC)
- Salesforce
- Exchange(Office365メール、カレンダー)
- MQTT
- OData
- DBトリガー

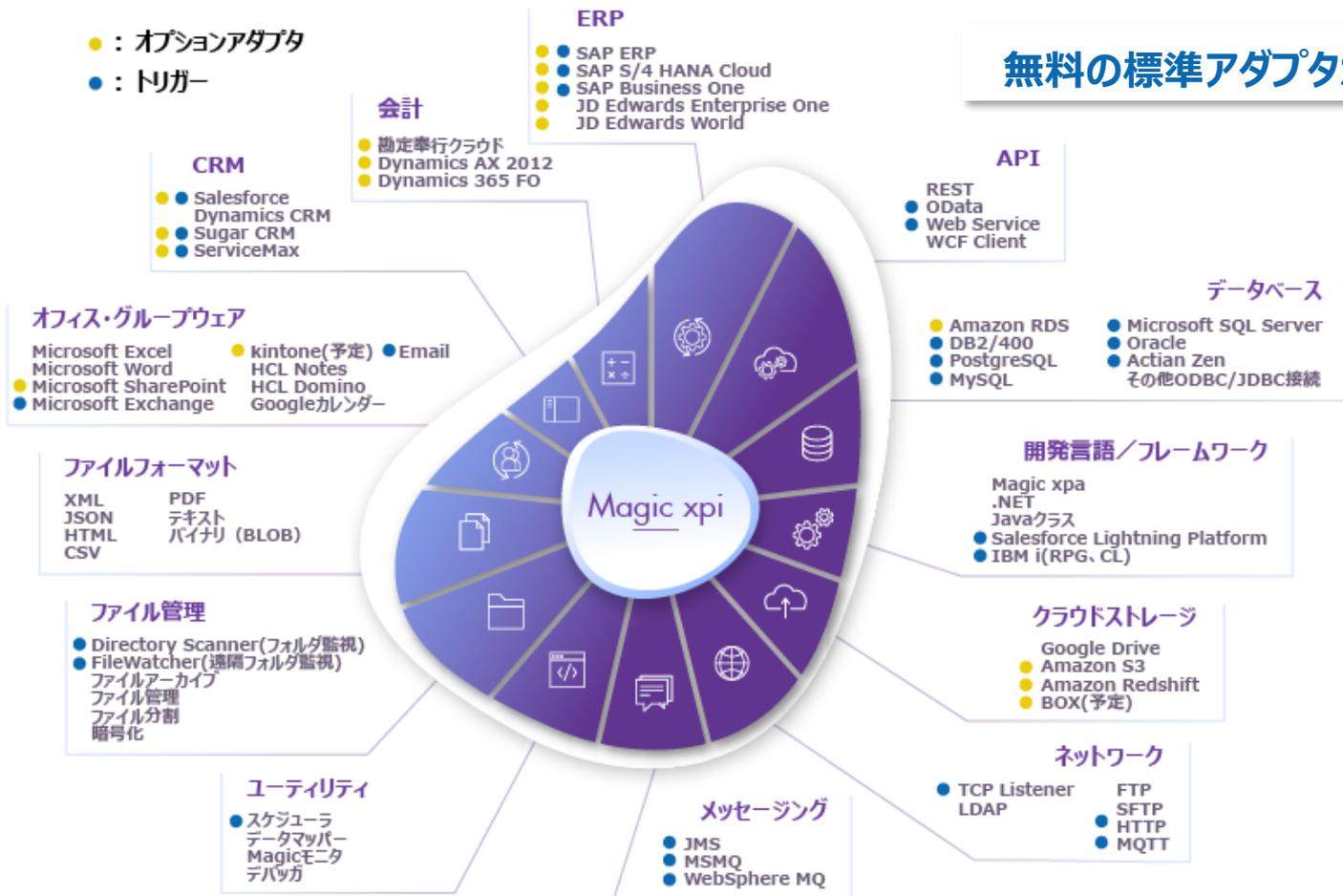
**多数のトリガーで監視、差分取得できる
のはMagic xpiだけ！**



豊富なアダプタ・コネクタ66種類500機能

- : オプションアダプタ
- : トリガー

無料の標準アダプタが豊富

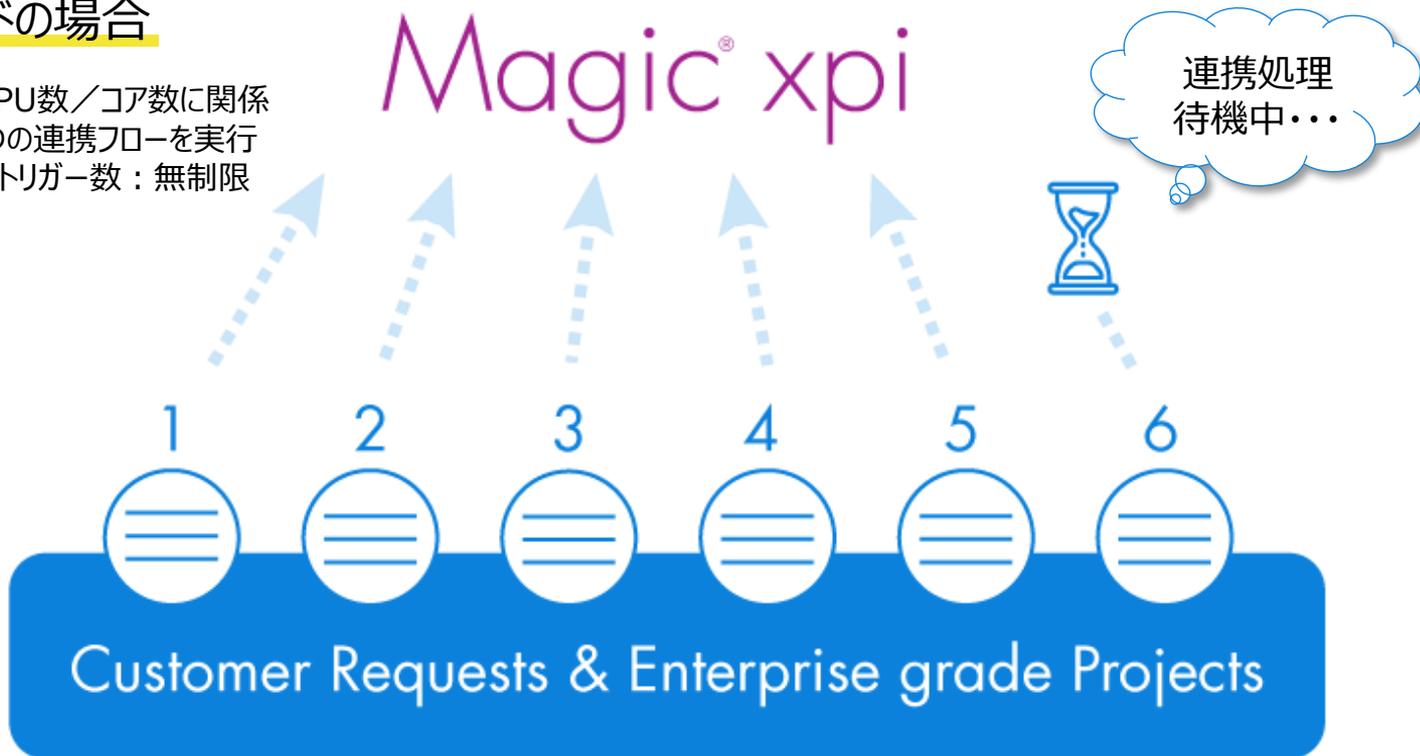


Magic xpiのライセンス体系

Magic xpiはスレッドライセンス（同時実行連携フロー数）

5スレッドの場合

- ✓ サーバ台数、CPU数/コア数に関係なく、同時に5つの連携フローを実行
- ✓ 連携フロー数、トリガー数：無制限



Magic xpiの強み

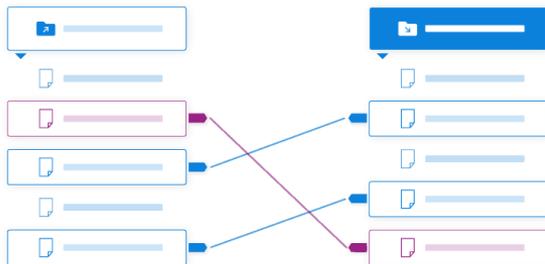
①ノンコーディング

コーディングを必要としない、ドラッグ・アンド・ドロップの開発環境各システムがAPIの仕様の知識がなくても、データ連携フローを作成できます。



②データマッパー

マウス操作で複数のエンドポイント間に線を引くだけで、データ変換・加工・編集・計算などの複雑な処理を行うことができます。



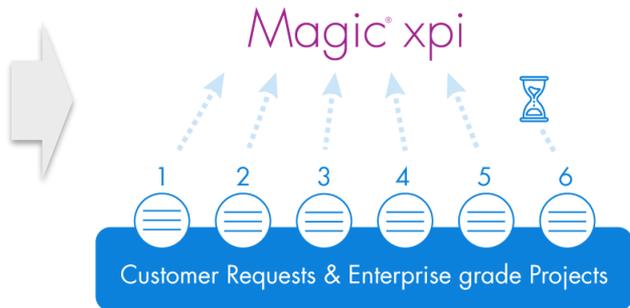
③インメモリ・データグリッド

インメモリ・データグリッド (In-Memory Data Grid) とは、大量のデータを複数のサーバのメモリ上にデータを分散管理し、並列に処理する技術です。



④スレッドライセンス

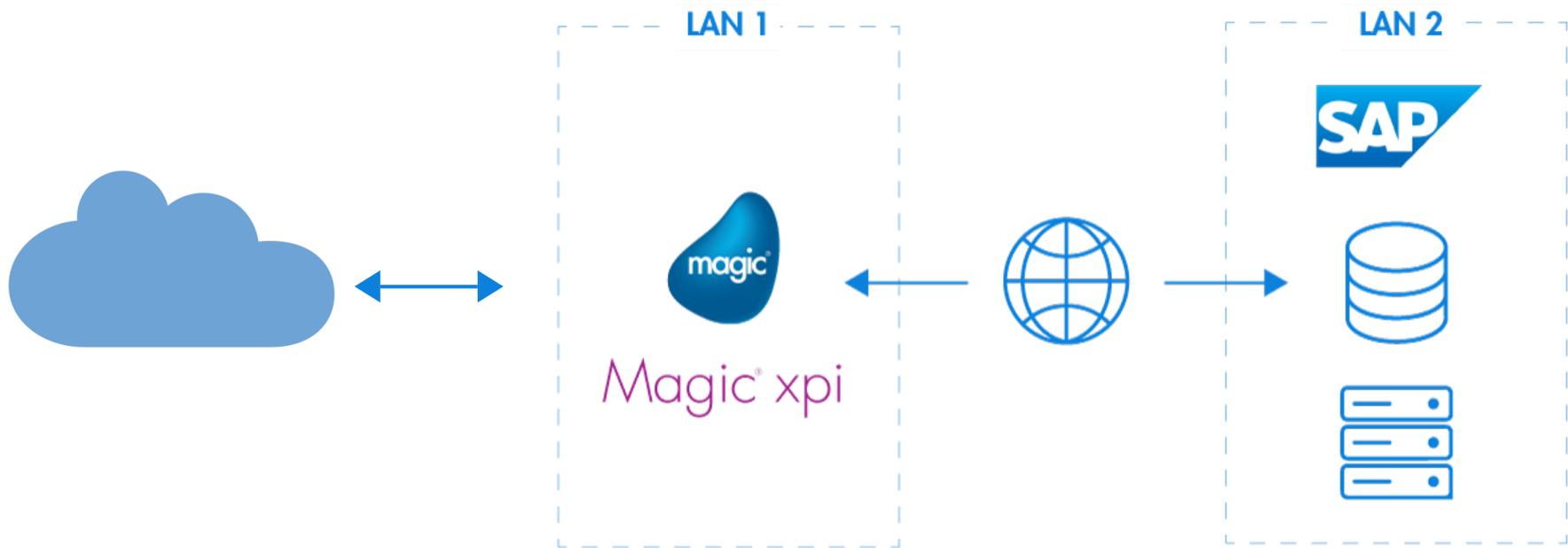
Magic xpiはサーバを増やしたり、CPUやコアを増やしても追加のライセンス費用いただきません。同時に処理できるフローの数によって課金される仕組みです。



- ✓ 豊富なアダプタ・コネクタ 66種類500機能
- ✓ ドラッグ & ドロップによるデータ連携開発
- ✓ 可用性・冗長性
- ✓ CPU数・Core数に依存しないライセンス

遠隔ネットワーク間のデータ連携Local Agent

- オンプレミス — クラウド間でセキュアにデータ連携
- Local Agentに対応しているアダプタは、SAP ERP、データベース、ファイルサーバ



製品価格

型式	製品名	スレッド数	定価	
			ライセンス料	メンテナンス料 (年額)
XPI4X-STUDIO	Magic xpi Studio Single User	-	500,000	100,000
XPI4X-ISB-5	Magic xpi Integration Server Basic Edition(Intel)	5	2,800,000	560,000
XPI4X-ISS-15	Magic xpi Integration Server Standard Edition(Intel)	15	4,800,000	960,000
XPI4X-ISE-35	Magic xpi Integration Server Enterprise Edition(Intel)	35	8,500,000	1,700,000

サブスクリプション(定価)		
月額	年額	
26,250	-	月単位での契約
-	600,000	標準アダプタのみ
	1,200,000	※1アダプタ同梱
	3,000,000	全アダプタ同梱 (※1,2含む)

オプション名		ライセンス料	メンテナンス料 (年額)	※1	※2	月額	年額	オプション
型式	製品名							
XPI4X-BGY-A	Magic xpi 勘定奉行クラウド Adapter 4.X	300,000	60,000	-	-	-	90,000	Basicオプション
XPI4X-AWS-A	Magic xpi Amazon Web Service Adapter 4.X	750,000	150,000					
XPI4X-B1-A	Magic xpi SAP Business One Adapter 4.X							
XPI4X-SF-A	Magic xpi Salesforce Adapter 4.X							
XPI4X-DCRM-A	Magic xpi Dynamics CRM Adapter 4.X							
XPI4X-SP-A	Magic xpi Sharepoint Adapter 4.X							
XPI4X-SCRM-A	Magic xpi SugarCRM Adapter 4.X							
XPI4X-SM-A	Magic xpi ServiceMax Adapter 4.X	1,250,000	250,000	-	-	-	375,000	Basic&Standardオプション
XPI4X-D3FO-A	Magic xpi D365 Finance Operations Adapter							
XPI4X-JDE-A	Magic xpi JD Edwards Adapter 4.X							
XPI4X-JDE-W-A	Magic xpi JDE world software Adapter 4.X							
XPI4X-DAX-A	Magic xpi DynamicsAX Adapter 4.X	2,000,000	400,000	-	-	-	600,000	Basic&Standardオプション
XPI4X-ERP-A1-A	Magic xpi SAP ERP A1 Adapter 4.X							
XPI4X-ERP-C	Magic xpi SAP ERP Connector 4.X							

Magic xpi Cloud Gateway

*a single platform for dynamic,
limitless connectivity*

The Magic logo is a white, irregular, teardrop-shaped graphic that serves as a background for the text. The word "magic" is written in a bold, lowercase, blue sans-serif font. A registered trademark symbol (®) is positioned at the top right of the word.

magic[®]

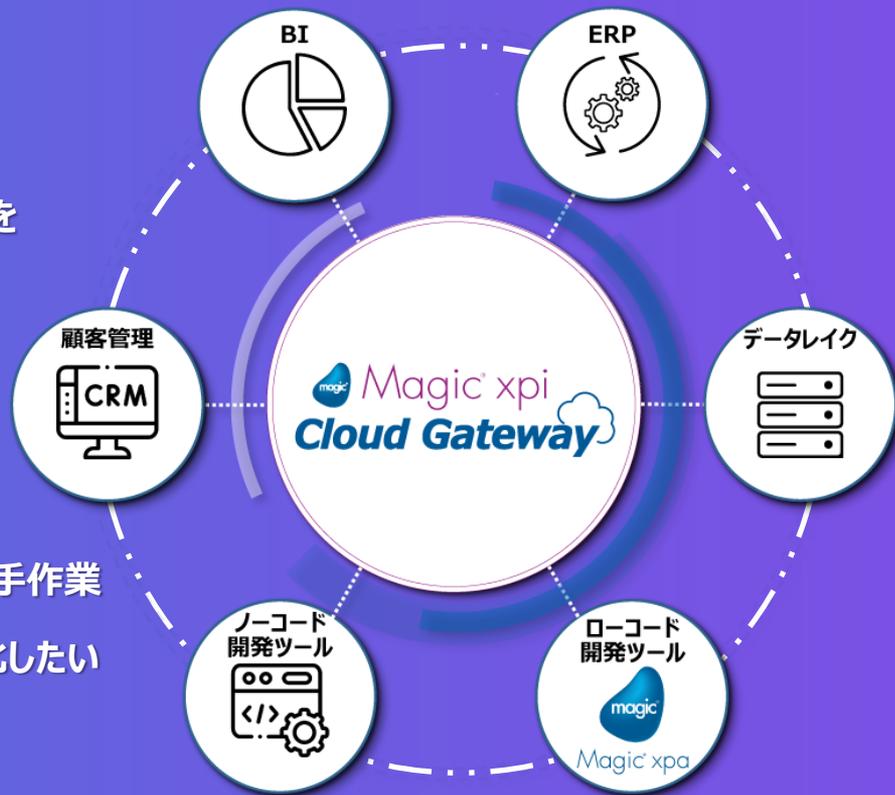
サービス概要

「Magic xpi」のクラウドサービス

クラウド上に配置したMagic xpiの実行サーバを
定額料金（5万5000円～）で利用

＼ こんな方にオススメ ＼

- ✓ 複数のクラウドサービス間でのデータ連携や統合が手作業
- ✓ クラウドサービスと連携した業務処理フローを自動化したい



連携実績のあるクラウドサービスの例①

専用アダプタを使用

サービス	業務・用途
AWS - S3	データ保管
AWS - RDS	リレーショナルDB
AWS - Redshift	データウェアハウス
Microsoft Dynamics	ERP、CRM
Microsoft SharePoint	ファイル・情報共有
Microsoft Exchange	メール・カレンダー
Gmail	メール
Google Drive	ファイル共有
Google Calendar	カレンダー
勘定奉行クラウド	財務会計
Dynamics 365 FO	ERP

RESTアダプタを使用

サービス	業務・用途
Marketo	マーケティングオートメーション
楽々明細	電子請求
MakeLeaps	電子請求
i-Reporter	電子帳票
GMOサイン	電子印鑑
WAN Sign	電子契約サービス
kintone	WebDB、業務アプリ構築
COLMINA	ものづくりプラットフォーム
コラボフロー	ワークフロー
SmarterHR	人事管理
Azure AD	ディレクトリサービス

連携実績のあるクラウドサービスの例②

RESTアダプタを使用

サービス	業務・用途
yext	店舗情報
TOKIUM経費精算	経費精算
HRBrain	クラウド人材管理
King of Time	勤怠管理
FOOD LINK R3.0	外食向けクラウドERP
O:der	飲食モバイルオーダー
NetSuite	クラウドERP
dimare	管理会計
CRMotion	お客様相談システム
Tableau	BI
SECOM安否確認	法人向けセキュリティ

RESTアダプタを使用

サービス	業務・用途
SharePoint + ADFS	ドキュメント管理 + ADFS
Azure Data Lake Storage Gen2	クラウドストレージサービス
Garoon	グループウェア
BizDogaPlus	動画共有サービス
Google BigQuery	データ分析プラットフォーム
BOX	クラウドコンテンツ管理

料金プラン

	エントリー	ベーシック	スタンダード	エンタープライズ
月額費用	5万5千円	10万円	17万円	38万円
同時処理スレッド数	5	5	15	35
アダプタ	標準アダプタのみ	標準アダプタ + 奉行クラウドアダプタ	全アダプタ利用可	全アダプタ利用可
サーバ・スペック	エントリークラス	ベーシッククラス	ミドルクラス	ハイクラス
連携フロー開発環境	クラウド上でMagic xpi Studio 5ユーザーが利用可			
検証環境	なし（必要であれば別途お見積もり）			
障害レポート	24時間 365日（クラウドサーバー障害が発生した場合は、フロー保守担当者に連絡）			
ヘルプデスク	Magic xpiサポートセンター（Webサイト）で24時間365日受け付け 技術者からの対応：平日10:00～17:00 ※実行環境についての技術的なサポート窓口（フローに関するサポートは除く）			
実行ログ	提供あり			
契約期間	1ヶ月ごとの契約 自動更新			
最短利用期間	12ヶ月			
初期費用	環境構築費として30万円			

導入事例 Magic xpi



トリドールホールディングス



DXを支えるデータ連携プラットフォーム

会計処理と人事異動の時間を短縮

1. 会計システムへのデータ連携

各種SaaSからの売上・費用などのトランザクションを会計システムに流し込むことを自動化

2. マスターデータ連携

各種システムでそれぞれ使っているユーザマスター、店舗マスター、商品マスターを連携・同期



1~2
日に短縮

人事異動に伴うユーザマスターの変更作業
1週間 → 1~2日に短縮



3
営業日

会計処理のリードタイムを6営業日から3営業日に短縮



100
%

ユーザプロビジョニング（構築中）
Azure ADと連携してアクセス権限を一括変更

magic

日次の売上データ集計を自動化

Excel編集作業 2人 → 1人に

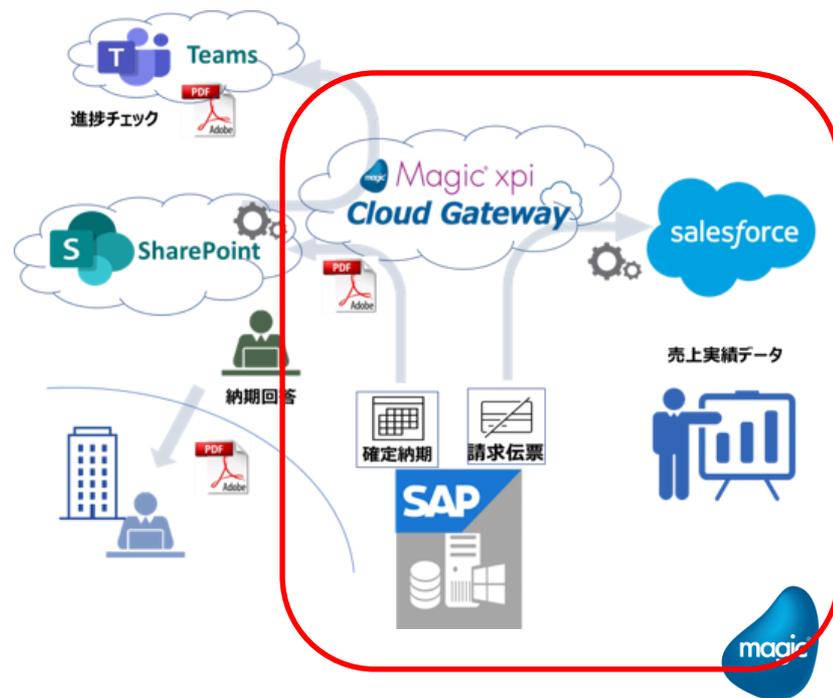
【業種：製造業 研磨剤の製造、販売】

業務1：営業へ売上情報の提供

[導入前] SAPのデータをExcelで編集加工を毎日2名が実施

[導入後] SAPのデータをSalesforceに自動連携し、
営業がSalesforce上で閲覧可能

[成果] 編集加工の工数をZeroへ



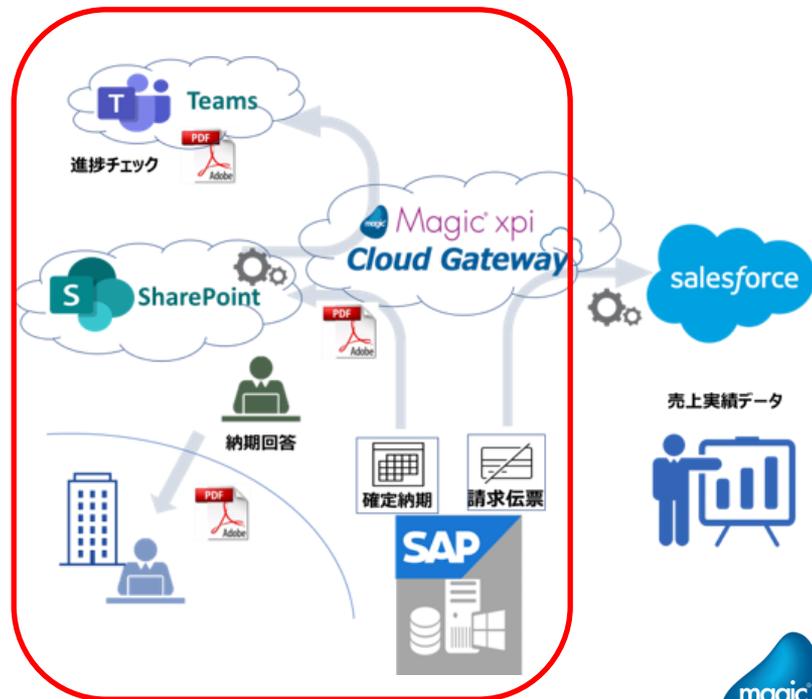
3人×半日がかりの工数がゼロに → 30人日/月の工数削減を実現

業務 2：お客様への納期回答

[導入前] 営業担当がSAPのデータを確認し確定納期を返答

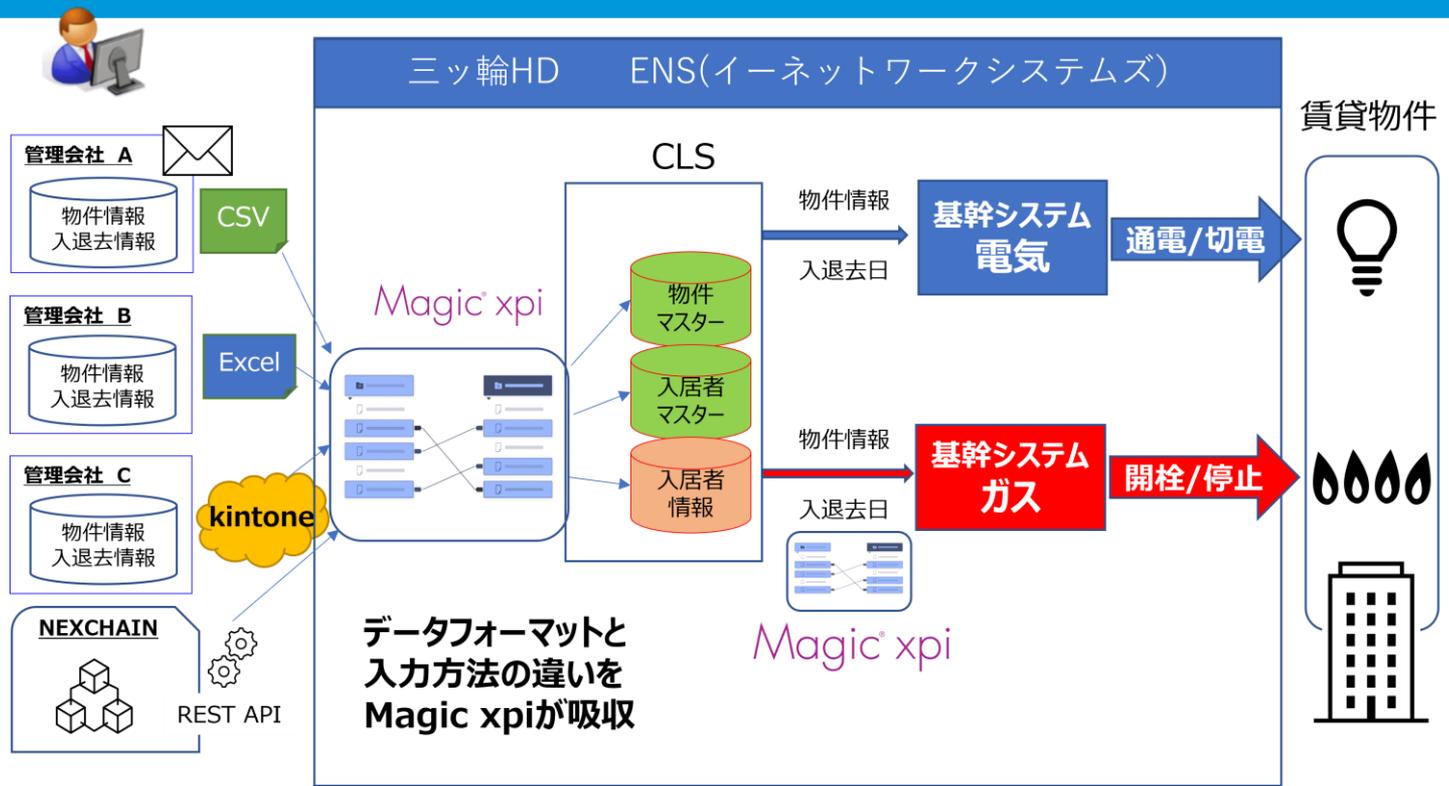
[導入後] SAPの確定納期を自動的にPDF化を行い
SharePointに自動保管、全社にて共有化
お客様への自動配信へ

[成果] 納期回答作業の自動化
担当の納期回答の工数がZeroへ



不動産賃貸管理会社向け：三ツ輪ホールディングス株式会社

スクラッチ開発に比べて5倍の生産性



IBM iとNotes/Domino連携：広瀬化学薬品株式会社

プログラミング経験のないシステム担当者が3ヶ月で内製開発

選定理由：他社製品に比べてライセンスコストが半分



注文データのフォーマット変換



各社異なるEDIデータのフォーマット変換作業を自動化し、基幹システムに取り込む作業を効率化

1週間あたり100時間かかっていた



IBM iのデータをNotesへ取り込む

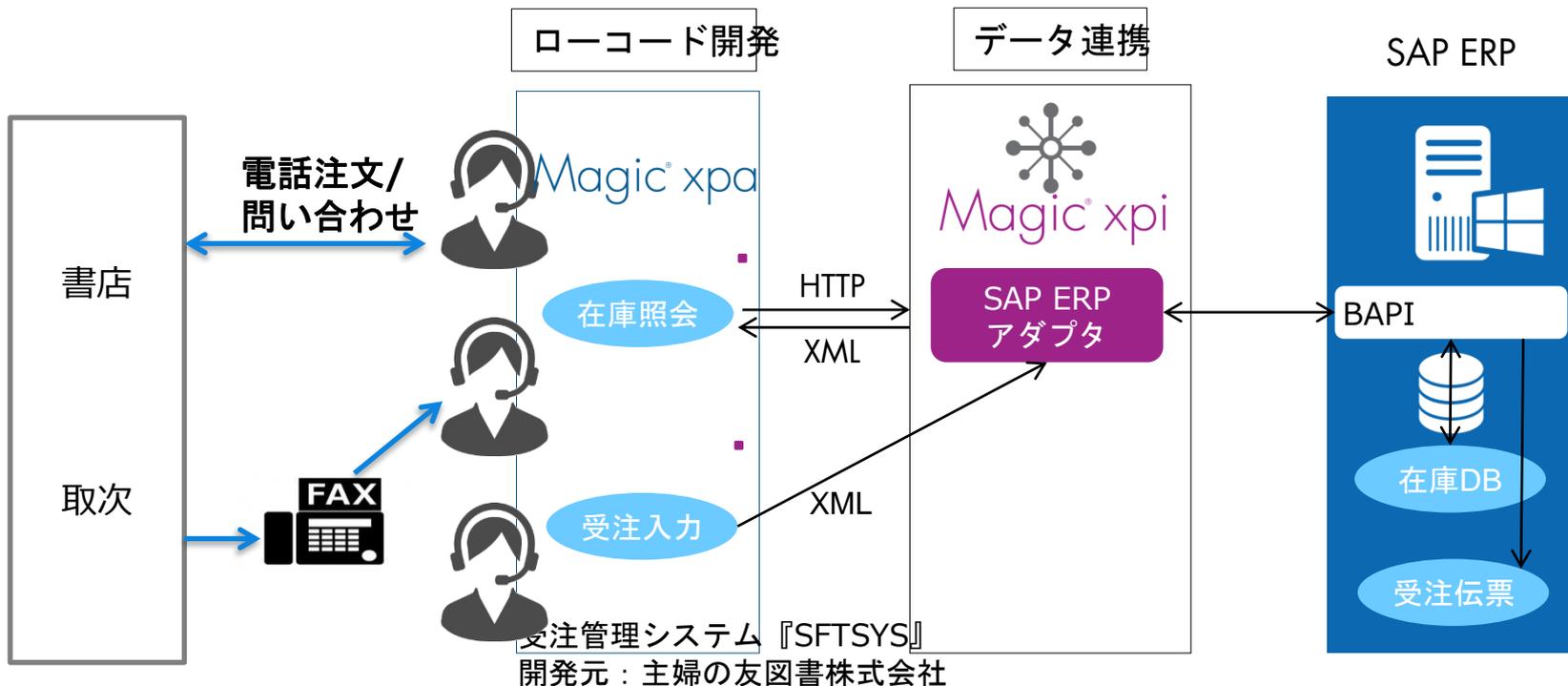


IBM iの受発注データを、リアルタイムでNotes/Dominoに送り、ワークフローを自動化



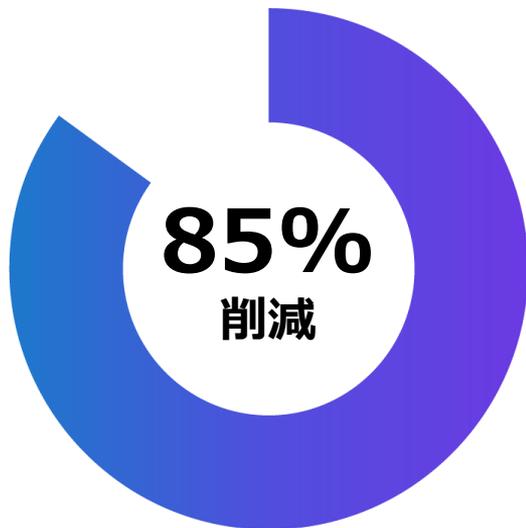
在庫照会・受注システム（Magic xpa）とSAP連携

- Magic xpaで開発した出版社向けパッケージソフト「SFTSYS」を、学研向けにカスタマイズしコールセンターに導入
- バックエンドのSAP ERPとMagic xpiで連携
- リアルタイムの在庫照会と注文受け付けのスピードアップで顧客満足度がアップ
- SAP ERPのアドオン開発をやめ、開発コスト削減



導入効果

アナログ作業を無くして業務を自動化 = 事業拡大に貢献



TORIDOLL→

変更作業が1週間 ⇒ 1~2日に減少

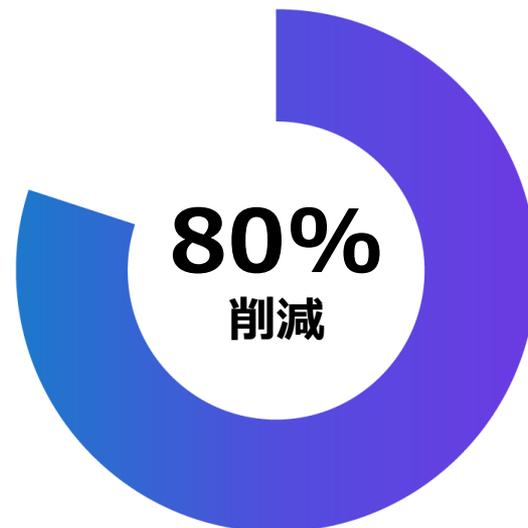
連携で作業工数とリードタイムを短縮



mipox

作業工数1.5人日 ⇒ 0に減少

納期回答をSharePointとメール連携で自動化



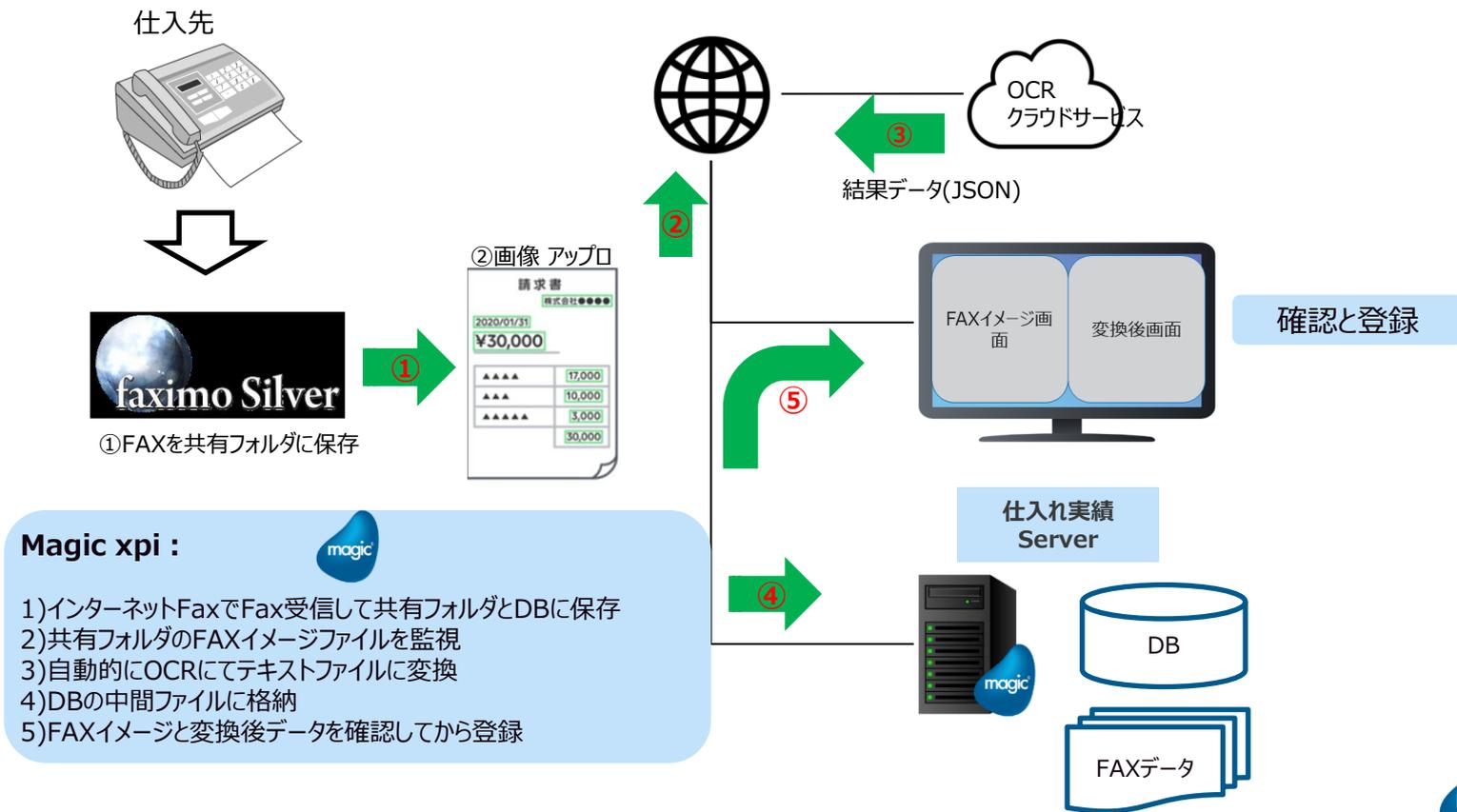
Gakken

システム構築費 ⇒ 1/4に減少

他社の見積金額よりも1/4のコストでシステムを構築



FAX受信 OCR変換とシステム登録を自動化



IBM iとNotes/Domino連携：広瀬化学薬品株式会社

プログラミング経験のないシステム担当者が3ヶ月で内製開発

選定理由：他社製品に比べてライセンスコストが半分



注文データのフォーマット変換



各社異なるEDIデータのフォーマット変換作業を自動化し、基幹システムに取り込む作業を効率化

1週間あたり100時間かかっていた



IBM iのデータをNotesへ取り込む



IBM iの受発注データを、リアルタイムでNotes/Dominoに送り、ワークフローを自動化



お客様の声

※ITトレンドより抜粋



コスト面と時間節約が出来る連携プラットフォーム

■ 良いポイント

SalesforceやSAPなど豊富なコネクタを備えており、特別な開発なしにスムーズに連携できるので時間とコスト面の節約が出来ます。

■ 導入で得られた効果・メリット

受注処理と在庫の更新がリアルタイムで行えるようになり、電話での通話時間や受注処理にかかる時間を大幅に短縮することにより、電話がつながらないなどのクレームがなくなりました。数多くの書店からシステムが非常に分かりやすくなり、注文を受けた商品がどの様な状態にあるのか瞬時に把握できるようになりましたと好評です。



操作性のよいEAIツール

■ 良いポイント

70種以上の多種多様なアダプターが用意されているので、様々なアプリケーションやファイルを連携できるのは、xpi導入後のシステム改修や規模拡大などにもとても役に立つ。また開発スタジオの操作性も改善されており、使い勝手がよくなった。

■ 導入で得られた効果・メリット

前述したように、多種多様なアダプターがあるため、コードを記述しなくてよいのが開発のメリット。一般的に、システムへのアクセス、データ取得更新、切断など、様々な処理なコードを記述しないとけないが、それらはアダプターがカバーしてくれるので、どこのデータをどこに連携するかだけ、マウス操作で製造できるは、開発工数の短縮にもなるし、バグ発生率が下がる。



豊富なアダプタ類で使いやすい

■ 良いポイント

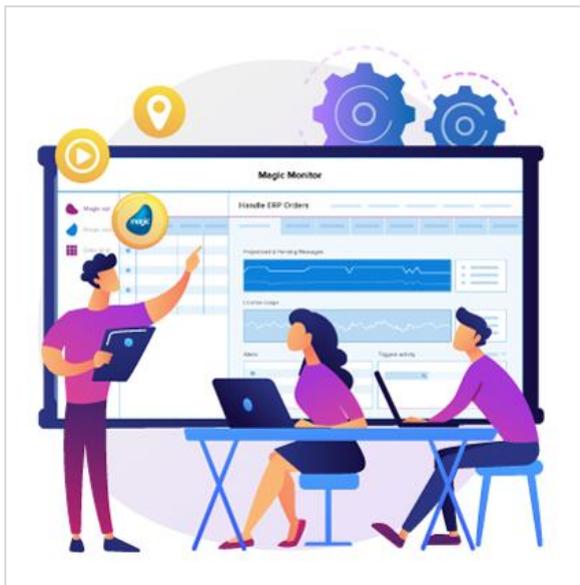
豊富なアダプタ・コネクタが用意されており、直感的な操作が可能なユーザーインターフェースなど初心者でも簡単に扱える設計です。また同種のソフトに比べて安価であるのも良いです。

■ 導入で得られた効果・メリット

オンプレミスやクラウド、モバイルデバイス上のデータを様々なアプリ、データベースでスムーズに共有可能にすることが出来るので、情報の検索などにかかる時間、コストが大幅にカットされて効率的な業務が可能になりました。

無料ハンズオンセミナーとお問い合わせ

ハンズオンセミナー



無料でMagicのローコード開発ツールと連携ツールを体験できるセミナーを開催しております。ぜひご参加ください。

[こちらをクリック](#)

お問い合わせ



Magicの製品・サービスについてお気軽にお問い合わせください。

[こちらをクリック](#)



Thank you!

magicsoftware.com



magic

magic